

哲学歴史学科

哲学

コース

先生はどんな研究を
しているんだろう？

ドイツと日本の近現代美学思想を研究しています。美学とは感性に関する哲学で、そこでは美や芸術が主題的に扱われます。従来、哲学においては、感性は理性と対立し、理性に反するものと考えられてきました。ですが、18世紀に入つて感性的機能に関する見直しが行なわれるようになり、その普遍的な機能や自立的な特性に一定の評価がなされるようになりました。こうした事情

を背景に、哲学の一部門として、美学が生まれたのです。私自身は最近、カント美学における感情や構想力の問題に関心を深めています。研究の原動力になつているのは、

哲学へのあこがれと芸術への愛、でしようか。哲学的思索を通して、芸術の本質に少しでも迫りたい、という思いから研究を続けています。

「なぜ、私たちはりんごやトマト、血液、郵便ポストを『赤い』と認識できるのか？」——〈赤さ〉という普遍性、性質そのものが個別的な対象とは別に存在するのだろうか？ それとも普遍的なものなどこの世には存在しないのか？ こういった問題に対しても、過去の哲学者の思想を紐解きながら学んでいきます。

日常で実感！ コースでの学び

この前串カツを食べに行つたとき——目の前に出てきた、皿の上の串カツを見ながら私は考えました。「これを『串カツ』という食べ物だと認識できるのは、今までにこれを食べた経験があるからか？」「この黄色い不定形の対象に『串カツ』という名前を結びつけることができるのなぜか？」「そもそも、今私の見ている串カツは、私以外の人間にも同じように見えているのだろうか？」この時、私は世界に対する自然的態度を変更し「哲学」をしていました。ちなみに串カツは豚でした。美味しかったです。



3回生
もりした
森下
あきゆき
晃行さん



哲学コースから
見た「食」とは？

時間とは何か。誰も私に尋ねないとき、私は知っている。尋ねられて説明しようと思ふと、知らない。哲学の諸問題は、アウェスティヌスが「時間」について述べたまさにこの事態を共有しています。物とは何か、存在とは、知るとは、心とは、言葉とは、感情とは、自由とは、幸福とは、美とは、芸術とは……何か。普段、わざわざ問うまでもなく自明のように思つてゐることを、哲学は立ち止まつて疑問視し、その原理にまで掘り下げて考へようとします。こうした諸問題を、古代から現代に至る哲人たちの英知に触れ、彼らと対話することを通して、あなたも一緒に考へてみませんか。哲学コースではあなたのこうした哲学的な問いの遂行をサポートします。



卒業論文 タイトル紹介

- 「ゾンビ論証」の妥当性
- ヒューム因果論における必然性について
- デューイの道具主義は問題解決の指針たりえるか



文...高梨先生

古来、西洋哲学の主流は異質の原理にもとづく精神と物質を区別し、前者を後者に対して価値論的に優越すると考えてきた。肉体や感覚は物質の原理に帰せられる。さて、「食」とは、第一義的に肉体のある種の欠乏を満たす行為である。それゆえ、この思考の伝統は精神の糧と肉体の糧を対比し、後者よりも前者に価値を置こうとする。たとえばカントは、美食を単に肉体での享受(享楽)にとどまるものとして、精神的意味を持つべき美的価値の追求から排除する。西洋哲学に深くかかわるキリスト教思想もこうした思想傾向に与する。曰く「人の生くるはパンのみによるにあらず」(申命記8-3、ルカ4-3)、神の言葉をも糧とせよ、と。しかし、果たしてこれらは食すべてであろうか。イサク・ディーネセンの小説『ババットの晩餐会』は、美味が結果としてもたらす精神的・宗教的満足を描き、食の「文化」たることを誇らかに主張している。哲学はこうした事象の意味もまた、誠実に考えなければならないと思う。

哲学歴史学科

日本史

コース

先生はどんな研究を
しているんだろう？



3回生
みなかた
南方
とく
徳士
さん

日本史コースから
見た「食」とは？

日本史コースって
どんなところ？

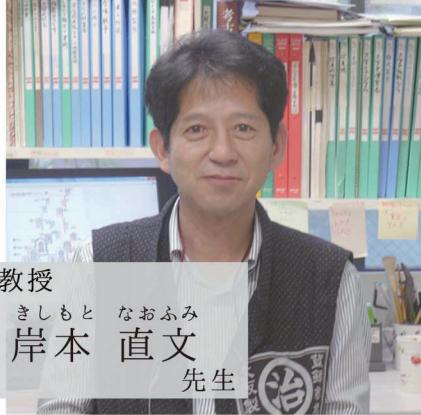
わたしのいちおし授業
日本史演習Ⅲ

この授業では大阪市の歴史をまとめた大阪市史をもとに近世大阪の民衆の暮らしありの実態に迫ります。また関連史料等で、実際に江戸時代に書かれた文書の解説をすることもあります。グループに分かれてさまざまな考察を行ない、徐々に実態に迫っていくために食料を作り、増大する人口に対して新田開発をつき進めていったことも、日本史の基軸です。ほんの100年前までは、都市労働者はまだ限られ、95%は農民でした。しかし、カロリーベースで1961年には80%近かつた自給率は39%になっています。そもそも自給率の高いフランス、100%に近づけているイギリス・ドイツに対し、日本はどんどん下がり、耕作地放棄が続いています。無策。基本的に、食料を自分で買うことは犯罪ではないかと考えています。



日常で実感！
コースでの学び

代史の教員5名、大学院生18名、学部生39名が、日本列島で生まれ育った人々の歩みに新たな光をあてようと「研究」に取り組んでいます。大学は、高校より高度なテキストを「学習」するところではありません。みなさんのが自発的に学ぶところ、史資料にもとづく「研究」をするところです。講義や史資料・論文の読解などの授業だけでなく、研究室全体で取り組む和泉市の調査、各時代の勉強会・研究会・見学会・調査があります。こうしたいろんな場を通じて、日本史を広く学びながら、自分の興味関心を深め、卒業論文に取り組みます。「日本史好き」をホンモノにし、日本の未来を考える人になってください。



准教授
きしもと なおふみ
岸本直文 先生

卒業論文 タイトル紹介

- 古墳時代前期における前方後方墳の位置づけ
- 織田政権下における近江山岡氏の変遷と位置付け——一族の活動から——
- 近世奈良町の社会構造——『御番所日記』の分析を通じて——

日本史のさまざまな時代の史料を検討していく中で、一つの物事をさまざまな面から捉える力がつきました。ニュースを見ていても、今はこういう考え方ができるんじゃないのか？ と考えることができるようになつたりと、自分の視野が広がつたと思ひます。また、旅行でお寺などに行つたときに、石碑に彫られている文章が少し読めたり、様々な豆知識を披露できたりと、より楽しみながら寺社巡りができるようになりました。



文・岸本先生

思われてなりません。国益とは何か、国民を守るとは何か、グローバル化とは、それぞれの地域が自立できる手段を失わせる掛け声のように思っています。

買うことは犯罪ではないかと考えています。グローバル化とは、それぞれの地域が自立できる手段を失わせる掛け声のように思われてなりません。国益とは何か、国民を守るとは何か、グローバル化やオスプレイやイメージス艦よりも大事だと思

哲学歴史学科

世界史

コース

先生はどんな研究をしているんだらう?

私は、今から100年くらい前のドイツにおける集合住宅について研究しています。それに伴い、建築家や都市、その中に住む人々の生活様式についても調べています。マンションや団地、また電気、ガス、水道管など今日では当たり前となつているものも、実は時代の流れとともに出来上がつてきたことがわかりおもしろいです。一方で、今そういった都市の住民のあり方が人口の減少と同時に変わってきています。その変動の中でもう一度過去を見つめ直すと新たな発見があります。また、昔の建築家が設計した住居に実際に住んでみると、建築家の思いや意図を感じ取ることも楽しい経験でした。ドイツと言えば19世紀のドイツ史やナチズムなどを研究する人が多いですが、誰もとりあげたことのないテーマを扱うことは、研究を続けていく上でのおもしろさだと思います。

世界史（西洋史）
コースって
どんなところ？



教授
北村 昌史

先生

世界史コースは、日本以外のすべての地域の歴史を扱います。文学部の学習の最終目標点は、卒業論文です。卒業論文では、学生は各々が設定したテーマについて、関連文献や史料を読んで議論を深めていきます。専任の教員の研究テーマは、中国史、近現代ドイツ史、中世イタリア社会史、そして学生は、こうした教員の関心にどらわれず、世界史のいろいろな分野に積極的にチャレンジしています。たとえば、アメリカ大陸を専門にする教員はいませんが、多くの学生がトライしています。授業や教員の指導は、こうしたチャレンジを手助けするものと考えています。

西洋史演習Ⅰ
この授業ではイスタンブルというトルコの都市についての概説書を輪読して、時代によって変わる都市の姿を学びます。また卒業論文を見据え、自分の興味分野の文献や史料を探す作業や各々の進捗状況の報告などもします。受講生のテーマや地域はばらばらですが、新たな発見があつたり自分の研究を進めるヒントを得られたりと、とても有意義な授業です！

日常で実感！
コースでの学び



3回生（西洋史）
本田みりさん

わたしのいちおし授業
西洋史演習Ⅰ

さまざまな時代・地域の歴史を扱う授業を受けてきた中で、時代・地域を超えて中央と地方」という関係があります。地方での行政はその時代背景や地域に応じて変わっていますが、それは歴史に関する本にはわかりやすく結果として記されています。少し前、大阪都構想の是非を問う住民投票がありました。それによって私は、私自身もまた地方行政が変わり続けてゆくその過程の真只中にいることを実感しました。

川北稔『砂糖の世界史』（岩波ジュニア新書）という本があります。砂糖を素材に、イギリスの植民地の拡大や植民地から来た砂糖による紅茶の飲み方の変化などをわかりやすく説明しています。ジャガイモ、茶、カカオ、トウモロコシなどの食材も、16世紀以降、大洋を越えて渡り歩いていました。とはいっても、500年前から色々な食材が世界中に流通していると考えるなり、それは物事の一面しかとらえていないことになります。世界を股にかけることのできる食材は、保存のきくものに限られるのです。19世紀に蒸氣船や蒸氣機関車が使われ、20世紀に冷蔵・冷凍技術が活用されるまでは、肉や野菜などの生鮮食料品の大部分は、地元で調達しなければなりません。気候風土により好まれる調理法も違います。こうして、国ごと地方ごとに特色ある料理が誕生することになります。世界史コースでは、こうした歴史現象の二面性を意識しながら研鑽をつむことになります。

文・北村先生

私はグーテンベルクの活版印刷術が登場する前後の世界の変化に興味があります。それまで写本という手法をもつて書物が複数されていたのが、活版印刷術の登場により早く数多くの書物が広く出来上がって、人々の知識欲を満たし情報を広めることとなり、ヨーロッパにおける文芸復興、宗教改革に大きく貢献したと言われています。当時の衝撃は、現代でのインターネットの発達と置き換えるでしよう。そのような意味で彼は今日でも情報化社会に影響を与えていたのだと思います。



3回生（東洋史）
松原ひかるさん

わたしのいちおし授業
世界史基礎講読

世界史（西洋史）
コースから見た「食」とは？
川北稔『砂糖の世界史』（岩波ジュニア新書）という本があります。砂糖を素材に、イギリスの植民地の拡大や植民地から来た砂糖による紅茶の飲み方の変化などをわかりやすく説明しています。ジャガイモ、茶、カカオ、トウモロコシなどの食材も、16世紀以降、大洋を越えて渡り歩いていました。とはいっても、500年前から色々な食材が世界中に流通していると考えるなり、それは物事の一面しかとらえていないことになります。世界を股にかけることのできる食材は、保存のきくものに限られるのです。19世紀に蒸氣船や蒸氣機関車が使われ、20世紀に冷蔵・冷凍技術が活用されるまでは、肉や野菜などの生鮮食料品の大部分は、地元で調達しなければなりません。気候風土により好まれる調理法も違います。こうして、国ごと地方ごとに特色ある料理が誕生することになります。世界史コースでは、こうした歴史現象の二面性を意識しながら研鑽をつむことになります。



ACEには、ディスカッションやプレゼンテーションなどを行なう授業、文学作品や新聞記事を読む授業などがあり、その内容は多岐にわたります。

日常で実感！

コースでの学び

世界史（西洋史）

コースから見た「食」とは？

世界史コースはその名前の通り、世界の歴史を研究するところです。歴史研究は時間を軸に過去の社会について研究する学問領域ですが、単に過去に目を向けるだけではなく、過去から現在、現在から未来へと考えていくことが大切となります。したがって、現代社会への深いまなざしが同時に必要となり、学生のみなさんには、語学力を磨いて史料を読む力を養成すると共に、留学をするなど現地に赴いて実地体験をすることも勧めております。また、世界史研究においては「比較史」の方法論の修得が不可欠となります。そのため、絶えず日本と世界とを比較し、考察する姿勢が身につき、日本を外側から見直すことにもつながりますので、日本と外国相互の深い理解力を有する国際的な感覚を身につけることも可能となります。

卒業論文 タイトル紹介

- 18世紀におけるイスタンブルへの木材供給
- 中世薬草園の夢と現実 ヴァラフリート・ストラボの『ホルトゥルス』をもとに
- 清末四川省におけるアヘン生産とその影響

先生はどんな研究をして
いるんだろう？

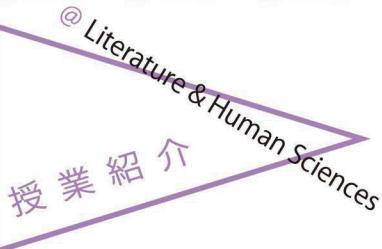
世界史（東洋史） コースって どんなところ？



日本と世界とを比較し、考察する姿勢が身につき、日本を外側から見直すことにもつながりますので、日本と外国相互の深い理解力を有する国際的な感覚を身につけることも可能となります。

私は東洋史、特に中国史を専攻しています。中国史と言っても広いのですが、その中でも「宋」の時代における政治史や社会史についての研究を行なっています。最近は、手紙資料をもとに、当時の社会状況や政治の仕組みなどについて研究しています。世界史（外国史）研究の特徴について言えば、外国と日本とを絶えず比較する「比較史」の視点にあります。これまで数多くの中国人研究者と交流してきましたが、彼らが見過ごしてきたような視点から研究を行なうことができたのは、この「比較史」の視点のおかげだったと思っています。また、外国史を研究することにより、日本について見直す機会も増えてきております。

私は昔から歴史に興味があり、今でも「知りたい」という欲求を持っています。研究を通して、今まで知らなかつた世界が見えてくる、その楽しさが私の研究に対する原動力です。みなさんも、興味や好奇心を大切にしてください。



文学部共通専門教育科目



コースに限定されない
ユニークな授業！



上方文化講座

▶夏休み中の3日間特別に開講される。プロの方による実演は圧巻。



ラテン語

西欧古典の理解を深められるラテン語とギリシア語を1年交代で学ぶことができる。2015年度はラテン語を開講。



文学部基礎演習

グループを作り、先輩の方法を学ぶ。4年間の専門教育の基礎を身につける初年次ならではの教育。

表現・表象文化論演習Ⅱ



専門実習科目

教室の中だけが授業じゃない！

▶和歌山県有田川町で水循環＋水質調査のための手伝い。



◀マレーシアの都市貧困層の生活実態調査。



全学共通科目



全学科目と専門科目

規模は2人から240人まで！

◀全学共通科目は全学部の学生が受けるため、中には学生数が200人を超える授業も。専門分野に偏らない広い視野を身に付けることをめざす。他学部の学生でも受けられるものもある。



専門教育科目